

2023年5月

2023年3月期

(2022年4月1日～2023年3月31日)

決算説明資料

ディーバイエックス株式会社



1	会社概要	(1) 会社概要	P 4
		(2) 事業系統図	5
		(3) 事業の特徴	6
		(4) 企業理念	7
2	当期のハイライト	(1) 当期方針と取り組みの成果	9
3	当期の決算概況	(1) 要約損益計算書	17
		(2) 売上高	18
		(3) 売上総利益	23
		(4) 営業利益	25
		(5) 当期純利益	27
		(6) 要約貸借対照表	28
		(7) 要約キャッシュ・フロー計算書	29
		(8) 配当	30
4	2024年3月期の見通し	(1) 2024年3月期の方針と取り組み	32
		(2) 業績予想（売上高）	34
		(3) 業績予想（営業利益、当期純利益）	35
		(4) 配当予想	36
5	中期展望	(1) 中長期ビジョン概要	38
		(2) 中期経営計画のローリング	39

1 会社概要

会社概要



資本金、従業員数、事業所数は2023年3月31日時点の状況です。

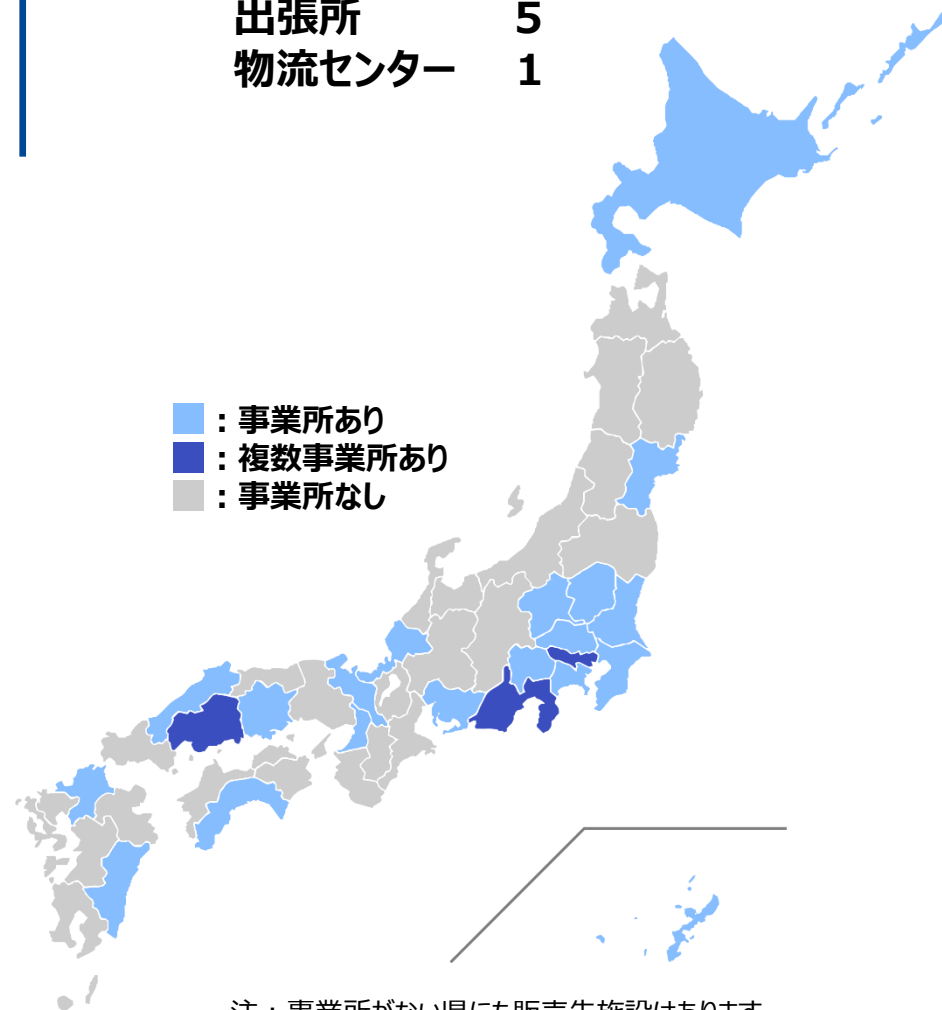
設立	1986年4月1日
資本金	344,457千円
従業員数	319名（営業部門247名）

事業所数	営業所	22
	出張所	5
	物流センター	1

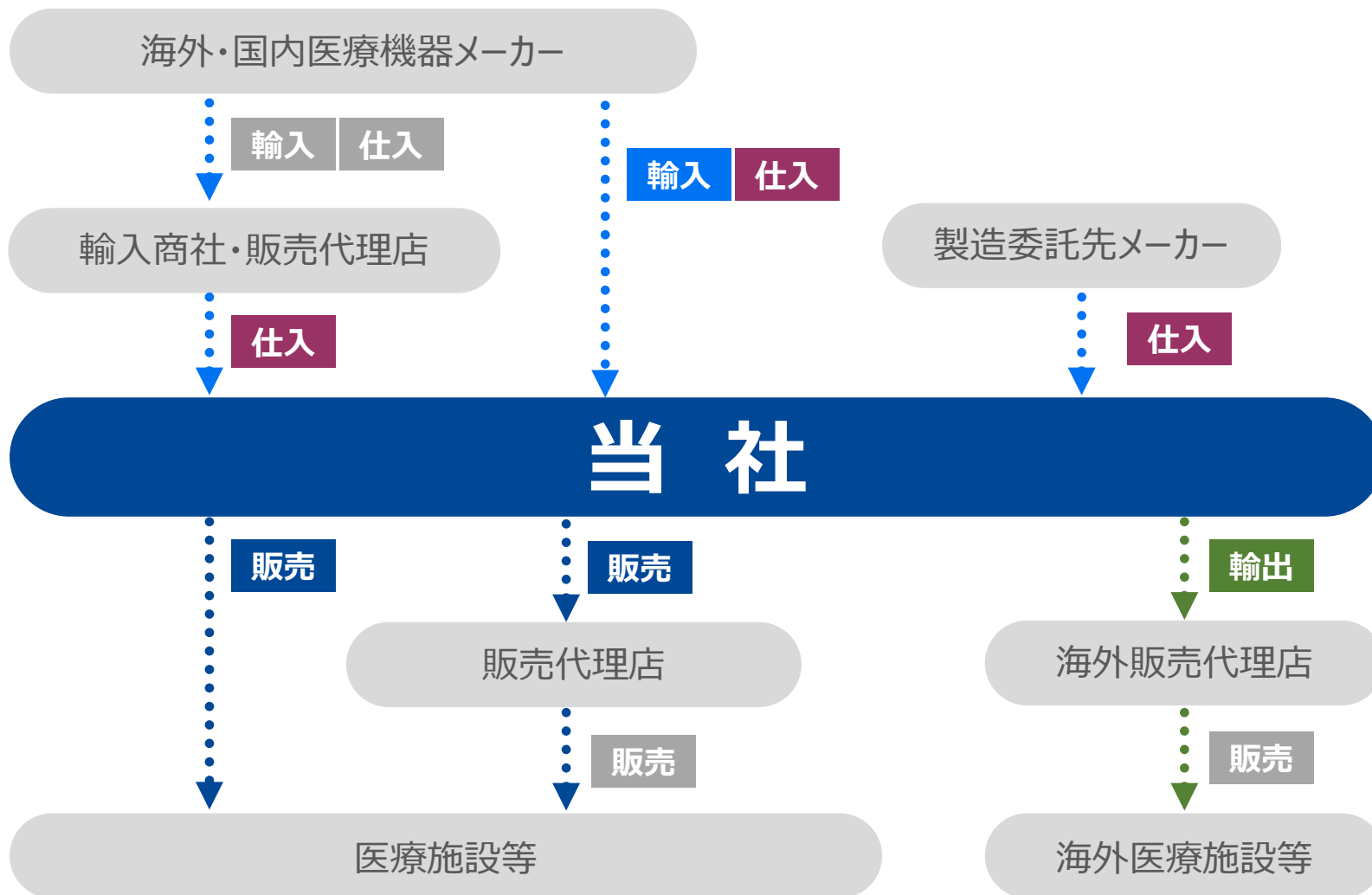
- ソリューション・プロバイダー
- 地域密着営業
- スペシャリスト集団
- 挑戦型企业

病気で苦しみ人々の
Quality of Lifeの向上

人に優しい医療への貢献



注：事業所がない県にも販売先施設はあります。



専門性

循環器分野に特化した
スペシャリスト集団

個人・組織の高い問題解決能力

医療現場からの信頼

首都圏

首都圏で、
循環器分野No.1のシェア構築

首都圏売上高比率65.2%

※首都圏：東京、埼玉、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、山梨



新たな
領域

新たな
事業

医療への貢献機会の拡大

事業構造の変革

Purpose

パーパス（私たちの存在理由）

生命と健康を守る。



Mission

ミッション（私たちがなすべきこと）



患者・医師・医療関係者にとって有益な製品・サービスを提供し、最適な医療の普及に貢献する。

Vision

ビジョン（その先にある未来像）



医療の現場や社会から求められるリーダーを目指す。
人種・性別・世代を問わず、多様な個性で変化を捉え、新たな事業を開拓する。

Values

バリューズ（私たちが共有する価値観）



- 私たちは、人に優しい医療の実現に貢献する。
- 私たちは、ニーズを捉え、最適なサービスを考える。
- 私たちは、相互に理解し合い、相互に助け合う。
- 私たちは、自己の目標を定め、常に能力の向上を目指す。
- 私たちは、適正な利益を確保した公正な取引を行う。
- 私たちは、人の『心』をもって正直に行動する。

2 当期のハイライト

方針

① 売上シェアの拡大

施設

品目

- 施設拡大（新規、取引消失先、大学病院、新規ABL立ち上げ施設、海外輸出）
- 品目拡大（未取扱メーカーの商流獲得、新規商品の開発と導入）

売上高は前期比4.4%増加しました。（過去最高更新）

施設：新規施設218、売上倍増施設18

※売上倍増施設：当期売上高が前期に対して200%以上かつ10百万円以上

施設：ABL立ち上げ施設の獲得

品目：2022年9月 新規商品（虚血分野）の国内独占販売契約締結

方針

2

粗利率の改善

仕入

高利益率商品

- 対仕入先メーカー（価格交渉、ターゲット施設・戦略商品における協働）
- 高利益率商品・機器・自社企画商品の売上の拡販
- RAQUOSによる総代理店事業売上の回復

粗利率（全社）は前期11.7%に対し、当期は11.5%となりました。

不整脈事業の粗利率は前期11.1%から当期11.3%に改善しました。

不整脈 前期11.1% →当期11.3%

虚血 前期18.8% →当期12.6%

その他 前期12.1% →当期12.3%

対仕入先メーカー：インセンティブの獲得（前期比 23.1%増）

高利益率商品：自社企画商品の売上拡大（前期比 7.9%増）

方針

③ 営業利益の確保

選択と集中

費用対効果

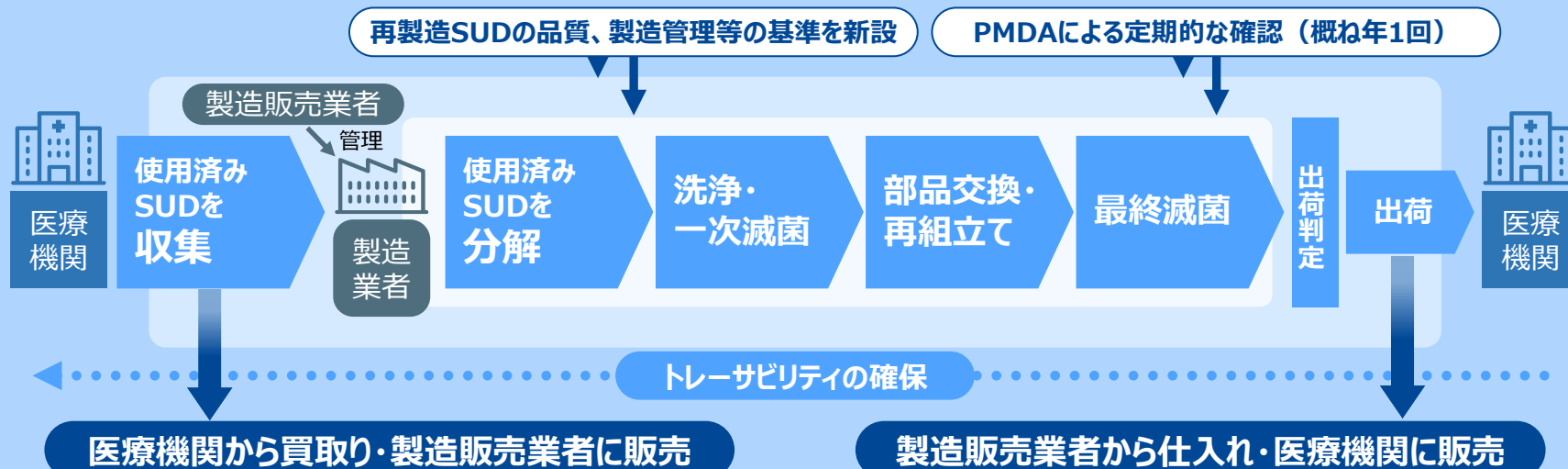
- コスト削減（費用対効果、時間コスト、選択と集中）
- 事業単位ごとの営業利益の確保

営業利益は前期比7.1%増加しました。

粗利	5,456百万円（前期比2.3%増）
販管費	4,115百万円（前期比0.8%増）
営業利益	1,340百万円（前期比7.1%増）

事業・営業所・出張所単位での費用配賦後利益チェック継続

再製造SUDに関する新たな仕組み



出典：「単回使用医療機器の再製造について（概要）」（厚生労働省）

(<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11124500-Iyakushokuhinkyoku-Iryoukikishinsakanrishitsu/0000173090.pdf>) を加工して作成

2018/12 回収事業開始
2020/6 販売事業開始

2023/3

回収先施設数 136（前期末63）
販売先施設数 28（前期末22）

NEW

カテーテルリサイクル事業

使用した医療機器を回収して、それに含まれるレアメタル・プラチナ・イリジウム合金などの有価物を抽出して、リサイクルする

買取契約先施設数 47

規模拡大中

将来の市場拡大を見込む

医療費削減、資源有効利用、環境保護



CDR

植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器（ICD）等についての専門的な医療機器情報や医療技術情報を提供する者を指す。

CDR 認定制度

植込み型医療機器の適正かつ安全な使用のために、専門的な技術と知識を有し、かつ医療関連企業あるいは医療機関の従事者として高い倫理観を備えた専門家の育成を目指す制度。

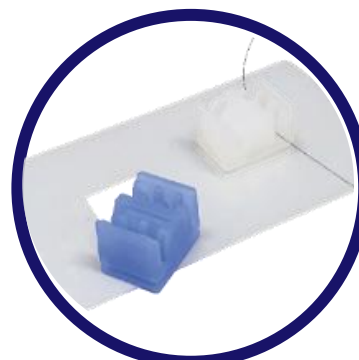
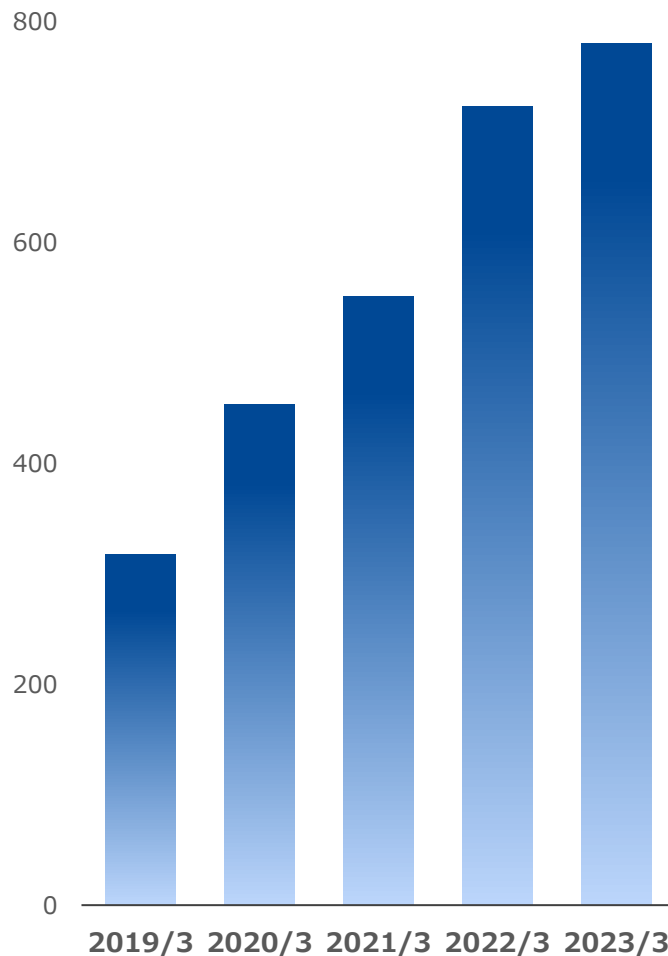
当期合格者 14名

在籍認定者 151名

施設拡大・売上獲得の競争力

自社企画商品売上高
※RAQUOSを除く

(単位：百万円)



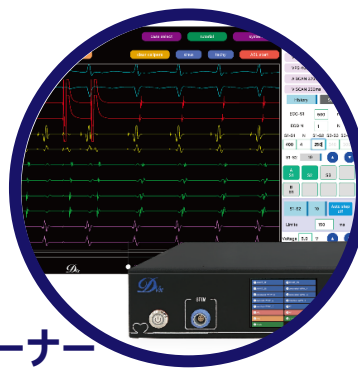
ディークリッパー



ガリバー



放射線防護カート
ディフェンダー



EPSトレーナー



映像関連製品

RAQUOSインジェクションシステム

2020/10 薬事認証取得

RAQUOSディスポーザブルキット

2021/7 薬事認証取得

2021/8 販売開始

- 本体販売後継続的に消耗品を販売するビジネスモデル

国内トップシェアを狙う自社企画商品

上期は計画通りの進捗（機能への高評価）

下期に部材調達難の影響（製品在庫不足）

海外展開の準備開始



造影剤自動注入装置
自社企画商品（製造は委託）

3 当期の決算概況

要約損益計算書



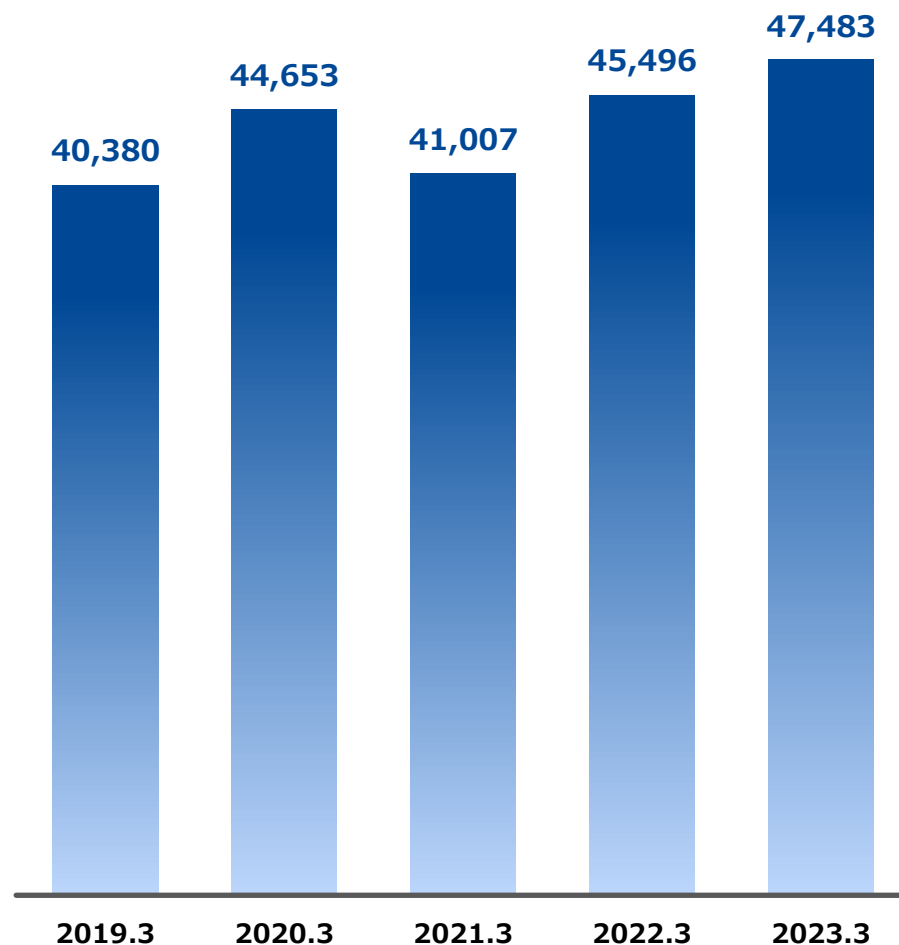
	実績 (百万円)	対売上高 (%)	前期実績 (百万円)	増減率 (%)
売上高	47,483	100.0	45,496	+4.4
売上総利益	5,456	11.5	5,335	+2.3
販管費	4,115	8.7	4,083	+0.8
営業利益	1,340	2.8	1,252	+7.1
経常利益	1,352	2.8	1,258	+7.5
当期純利益	936	2.0	863	+8.5

(単位：百万円)

売上高 474.8億円

前期比 4.4%増 

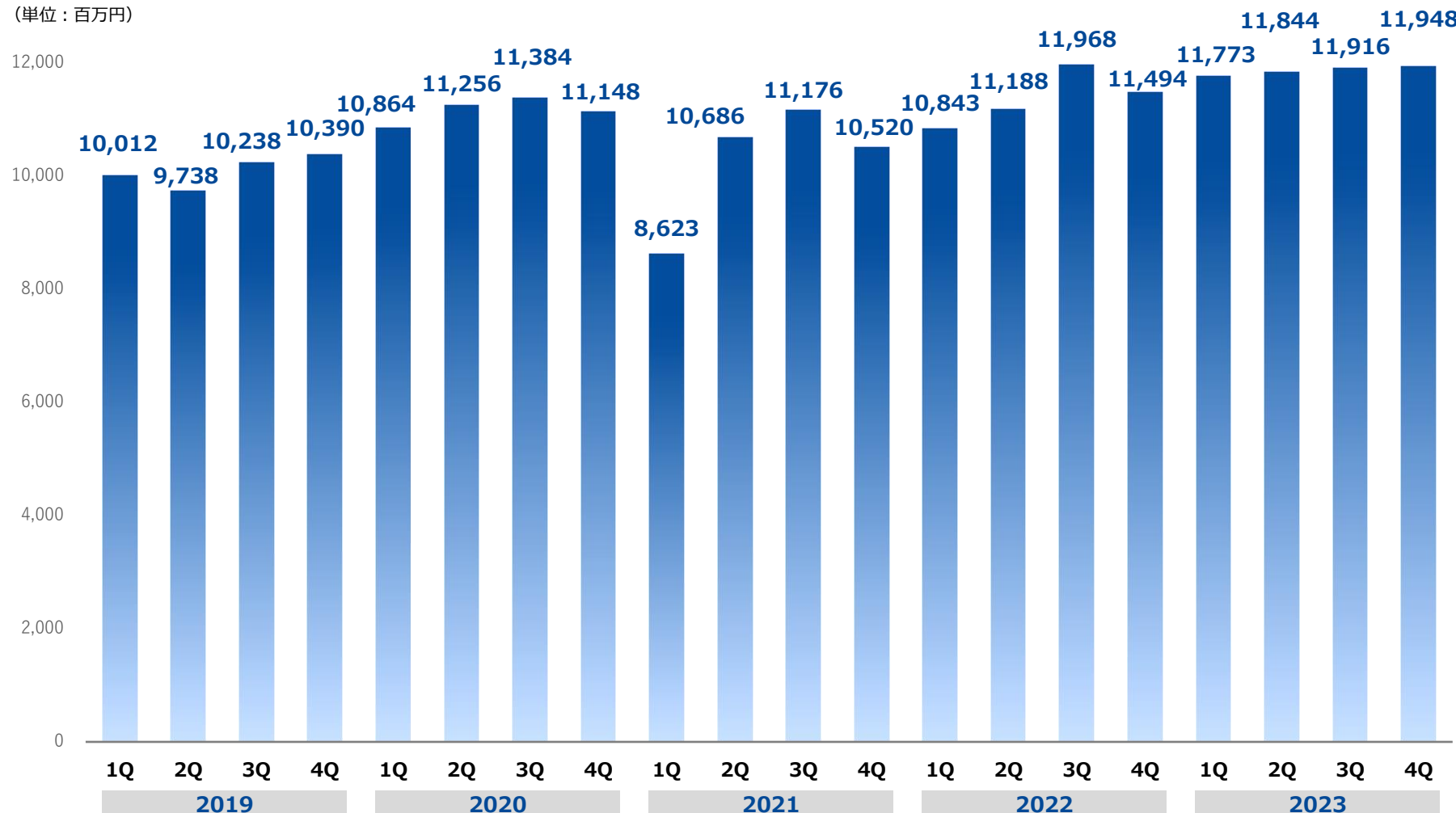
	金額 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	40,858	+3.8
虚血	3,059	▲4.0
その他	3,565	+21.5
合計	47,483	+4.4



四半期売上高の推移



(単位：百万円)



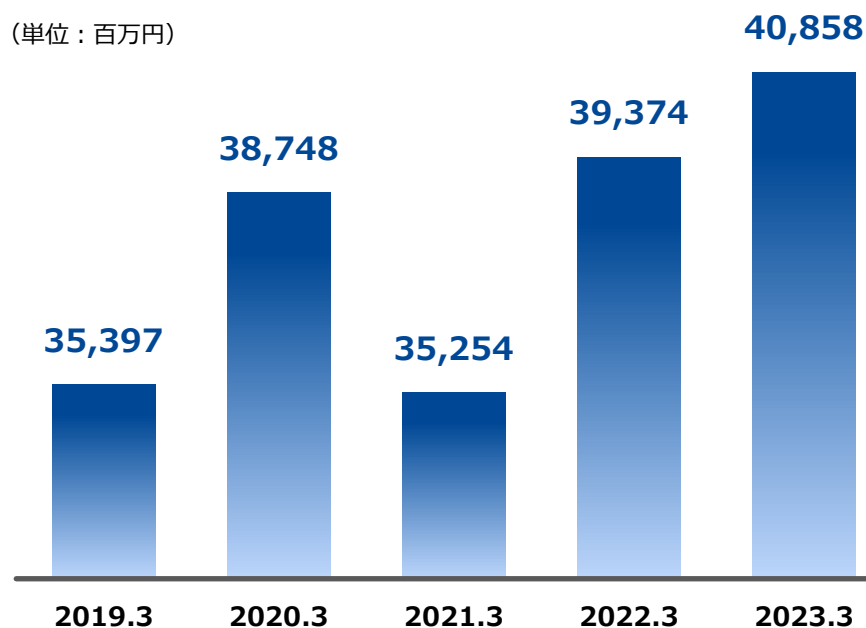
売上高 408.5億円

前期比

3.8%増 

- 医療現場の安定、症例数の回復
- ICD（植込型除細動器）が好調
- 過去最高額を更新

（単位：百万円）



	当期 (百万円)	前期 (百万円)	増減率 (%)
ペースメーカー	3,844	3,913	▲1.8
ICD 植込型除細動器	2,434	2,117	+15.0
CRT-D 機能付植込型除細動器	1,965	1,922	+2.2
電気生理検査用カテーテル	11,713	11,077	+5.7
心腔内超音波プローブ	4,167	3,879	+7.4
ABL用機能付カテーテル	6,453	6,209	+3.9
ABL用カテーテル	380	451	▲15.7
冷凍ABL用カテーテル	2,445	2,331	+4.9
その他	7,453	7,472	▲0.3
合計	40,858	39,374	+3.8

売上高 30.5億円

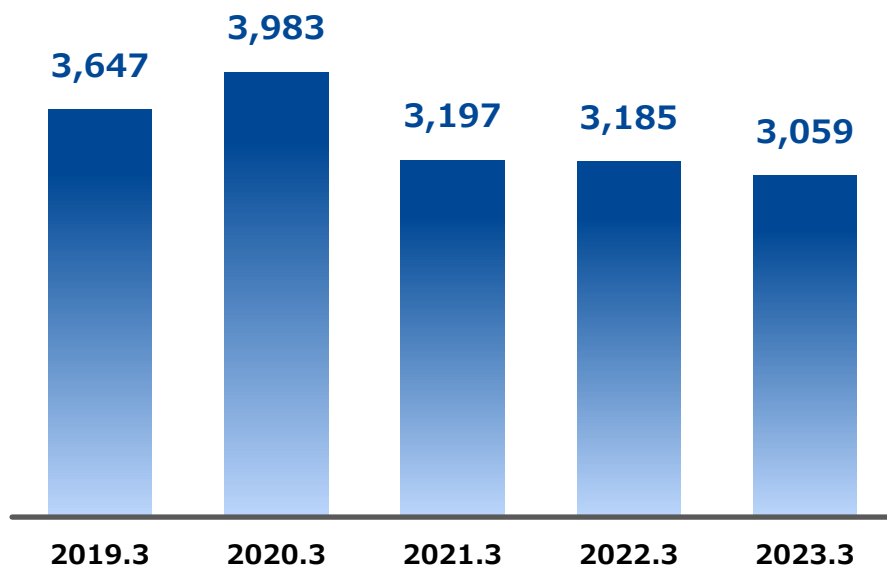
前期比

4.0 %減



- レーザー事業の売上高減少
- RAQUOS事業の立ち上げ

(単位：百万円)



	当期 (百万円)	前期 (百万円)	増減率 (%)
SPNC	1,016	1,216	▲16.5
その他	2,043	1,969	+3.8
合計	3,059	3,185	▲4.0

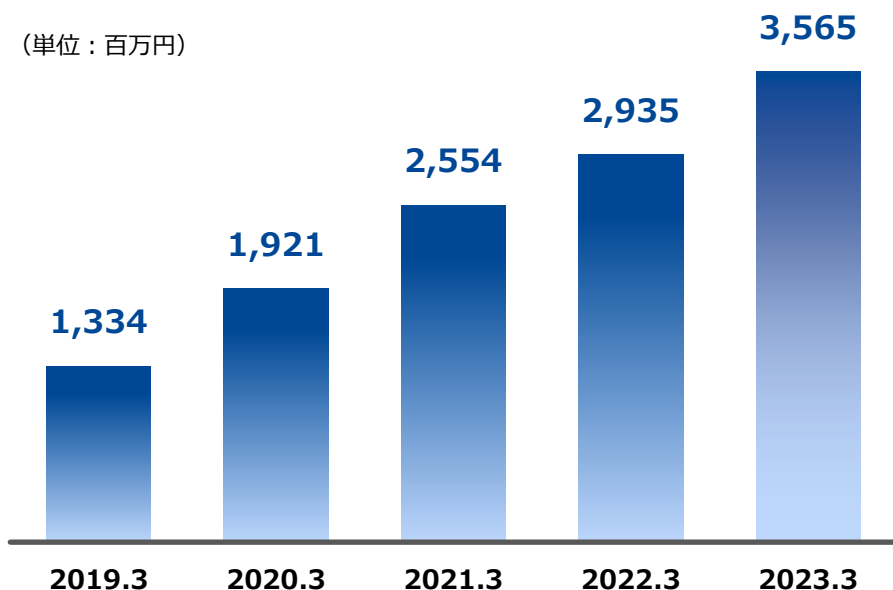
売上高 35.6億円

前期比

21.5%増 

- TAVI（ストラクチャー）、脳血栓除去デバイス（頭部腹部領域）が好調
- 自社企画品が好調
- 過去最高額を更新

（単位：百万円）



	当期 (百万円)	前期 (百万円)	増減率 (%)
ストラクチャー	1,401	1,024	+36.8
頭部腹部領域	1,305	1,205	+8.2
心臓血管外科	150	148	+1.0
外科	173	120	+44.6
その他	534	436	+22.6
合計	3,565	2,935	+21.5

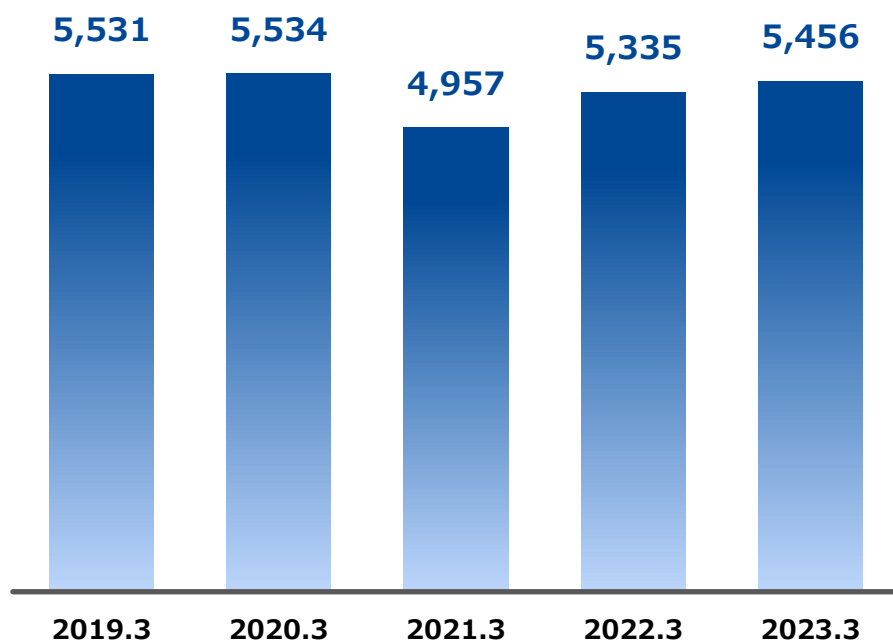
売上総利益 54.5億円

前期比

2.3%増 

■ 粗利率11.5%（前期11.7%）

（単位：百万円）



	金額 (百万円)	増減率 (%)
不整脈	4,633	+5.8
虚血	385	▲35.7
その他	437	+23.1
合計	5,456	+2.3

売上総利益（事業別）



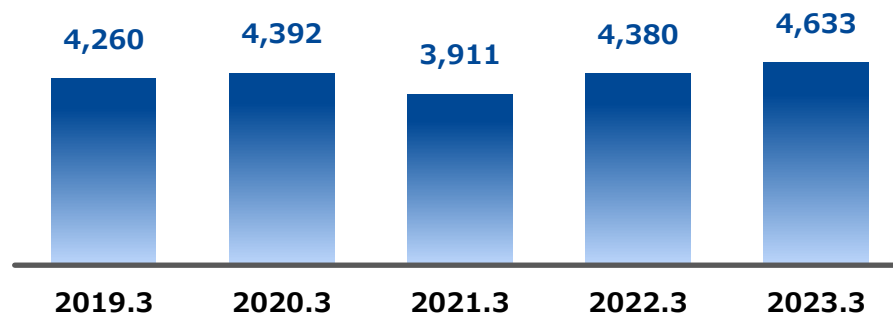
（単位：百万円）

不整脈事業

セグメント利益 **46.3億円**

前期比 **5.8%増**

- 粗利率11.3%（前期11.1%）
- インセンティブ獲得、高利益商品販売
- 売上高増加×粗利率上昇

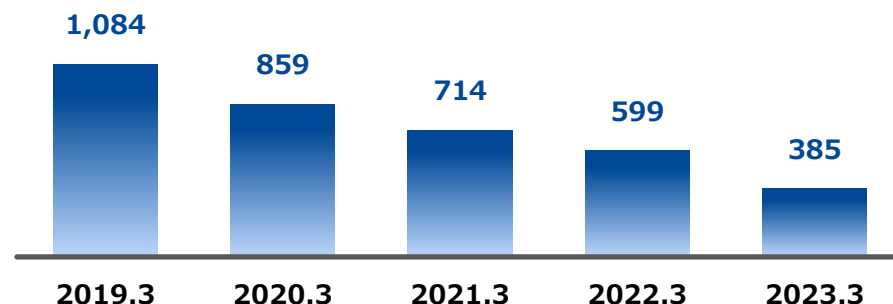


虚血事業

セグメント利益 **3.8億円**

前期比 **35.7%減**

- 粗利率12.6%（前期18.8%）
- レーザー事業取引条件の変更の影響
- 売上高減少×粗利率低下

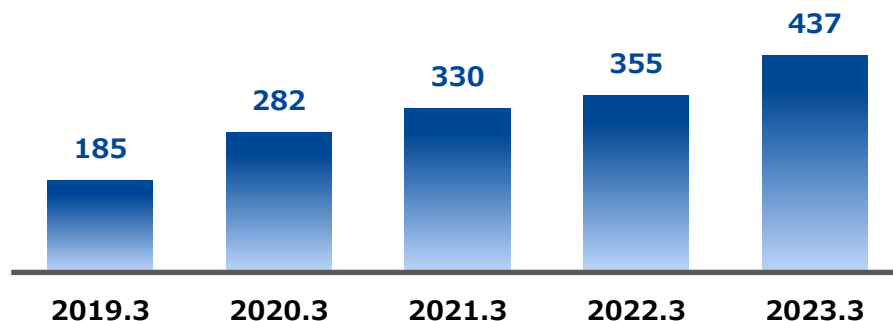


その他

セグメント利益 **4.3億円**

前期比 **23.1%増**

- 粗利率12.3%（前期12.1%）
- 売上高増加×粗利率上昇



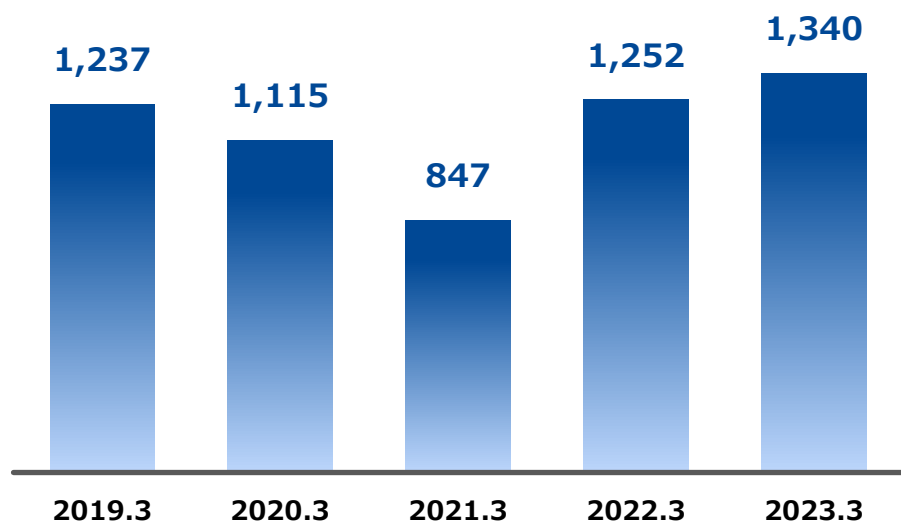
営業利益 13.4億円

前期比

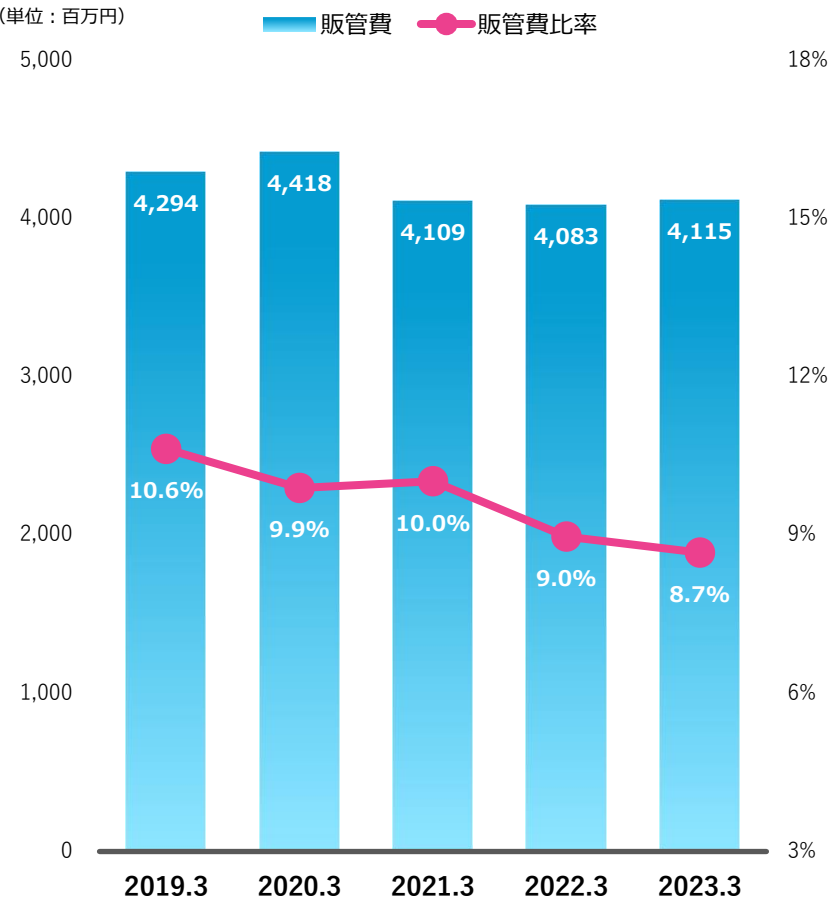
7.1%増

- 売上総利益 前期比2.3%増
- 販売管理費 前期比0.8%増
- 売上高営業利益率2.8%（前期2.8%）
- 売上高販管費比率8.7%（前期9.0%）

（単位：百万円）

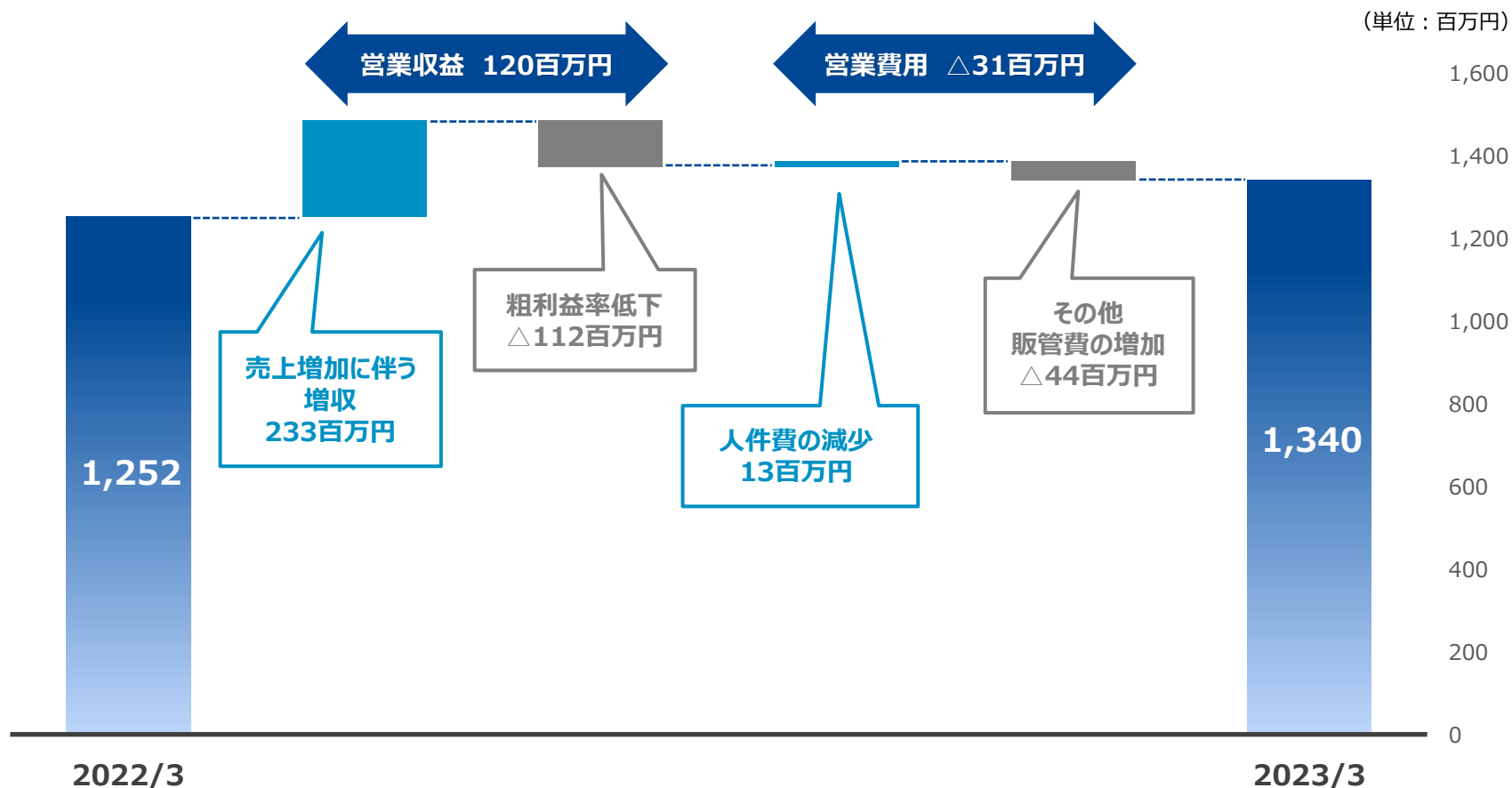


（単位：百万円）



営業利益増減分析

売上高の増加で233百万円増加、粗利率の低下で112百万円減少、
販売管理費の増加で31百万円の減少



(単位：百万円)

当期純利益 9.3億円

前期比 8.5%増 

- 自己資本当期純利益率10.5%
(前期10.5%)

主な営業外損益

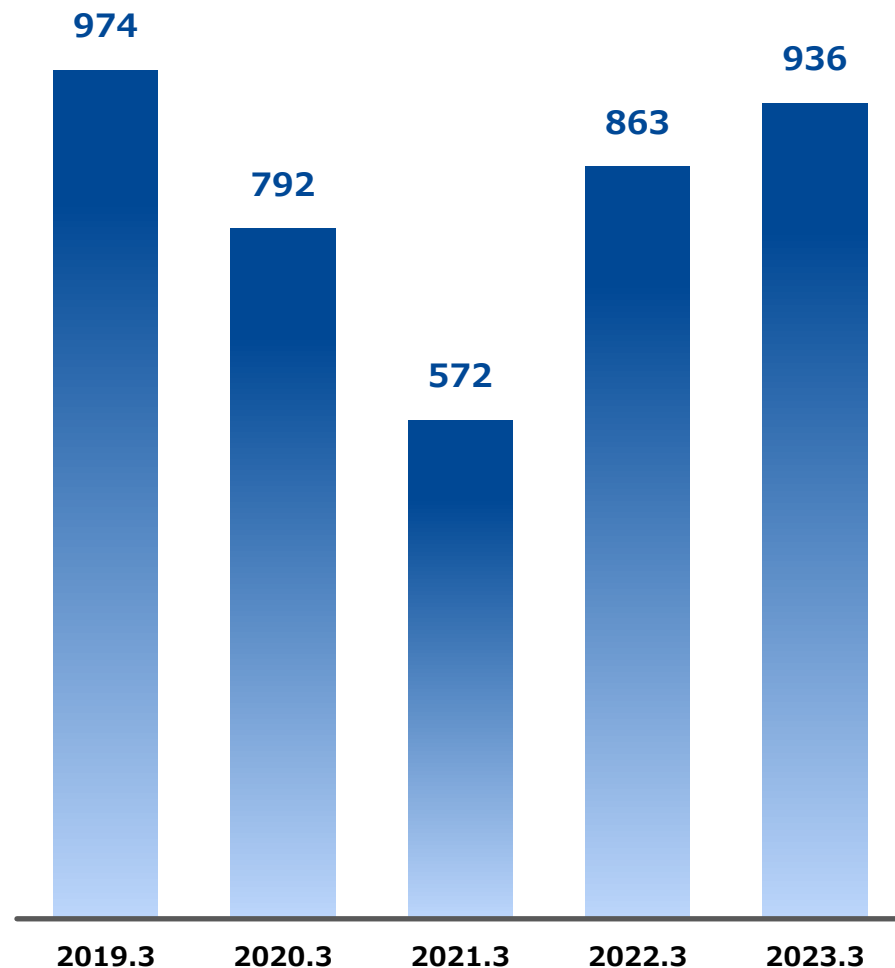
- 為替差益 4.8百万円

主な特別損益

- 固定資産除却損 3.1百万円

法人税等合計

- 法人税等合計 414.3百万円



要約貸借対照表



	実績 (百万円)	構成比 (%)	前期末実績 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
流動資産	21,965	93.1	20,827	+5.5	現預金の増加 767百万円 電子記録債権の減少 207百万円 売掛金の増加 59百万円 商品の増加 472百万円
固定資産	1,624	6.9	1,383	+17.4	工具・器具及び備品（純額）の減少 64百万円 土地の減少 55百万円 投資有価証券の増加 300百万円
資産合計	23,589	100.0	22,210	+6.2	
流動負債	13,770	58.4	13,140	+4.8	買掛金の増加 842百万円 未払法人税等の減少 71百万円 未払消費税の減少 107百万円
固定負債	507	2.2	482	+5.1	
負債合計	14,278	60.5	13,623	+4.8	
純資産	9,311	39.5	8,587	+8.4	繰越利益剰余金の増加 674百万円 自己株式の減少 50百万円
負債純資産合計	23,589	100.0	22,210	+6.2	

要約キャッシュ・フロー計算書



	当期 (百万円)	前期 (百万円)	当期の主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,484	1,687	税前当期純利益 (1350百万円) 減価償却費 (391百万円) 売上債権の減少 (150百万円) 棚卸資産の増加 (△618百万円) 仕入債務の増加 (842百万円) 法人税等の支払額 (△512百万円)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△477	△97	有形固定資産の取得 (△230百万円) 投資有価証券の取得 (△300百万円)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△244	△235	配当金の支払 (△258百万円)
現金及び現金同等物の増減額	767	1,360	
現金及び現金同等物の期首残高	7,846	6,486	
現金及び現金同等物の期末残高	8,614	7,846	

配当方針

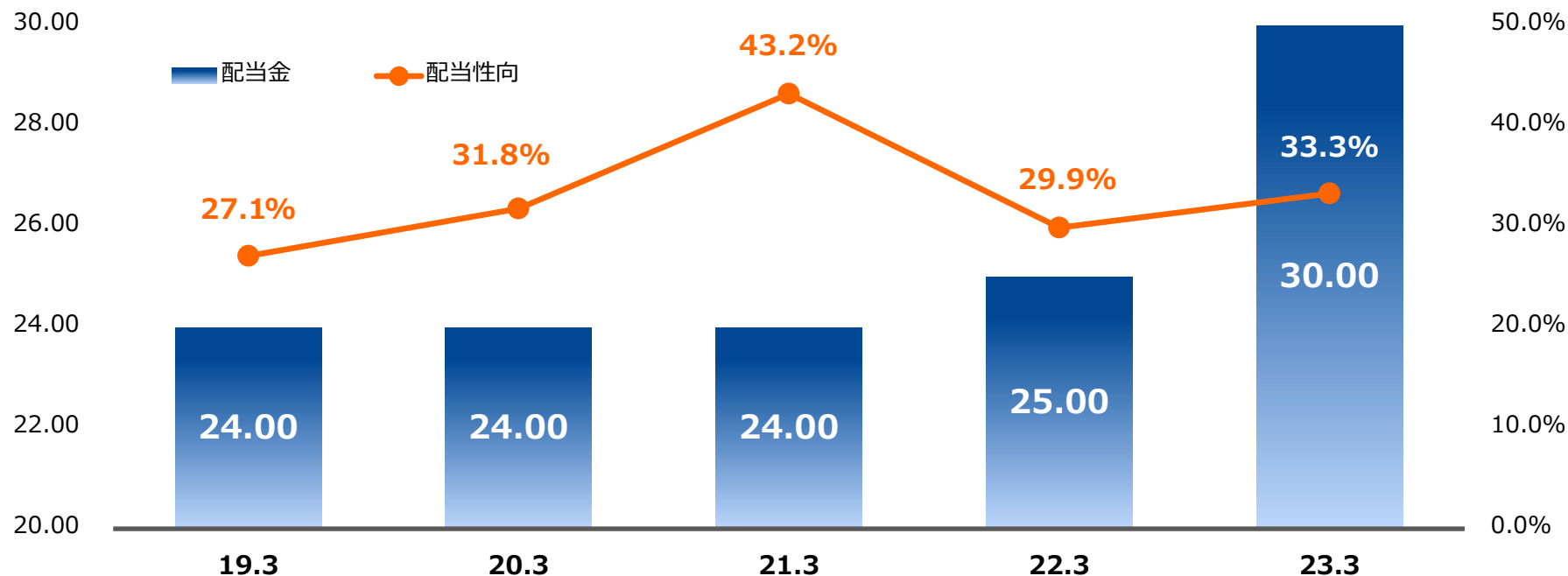
継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを基本として配当を決定する

5円増配

配当方針及び当期業績を踏まえ2023年3月期期末配当を前期実績から5円増配し、1株当たり30.0円といたします

期末配当 30.0円 (配当性向 33.3%)

(単位：百万円)



4 2024年3月期の見通し

I 利益率・生産性の向上

- DX推進による事務フローの自動化と省力化品目拡大
- 基幹システム改善による物流と販売管理機能の強化
- インセンティブ・一括買取の推進
- 高利益率商品の売上高構成比のUP

II 地域依存度の低減

- 施設拡大、品目拡大
- 主要大学、主要病院の新規獲得
- 事業単位での配賦後営業利益黒字化

III 強靱な事業ポートフォリオの構築

- 輸入商社機能の強化
- ニーズ志向の製品探索と導入
- RAQUOS事業推進
- オンリーワン商品、自社企画品の販売拡大
- M&A、投資の推進

IV | 新たな成長基盤の強化（市場）

- 国内シェアNo1に向けたRAQUOS事業の推進
- 海外市場の開拓（まずはアジア向けから）
- R-SUD事業、リサイクル事業の確立
- 営業部門と技術部門の連携による新製品発掘

V | 成長基盤の強化（組織）

- E:DX推進によるペーパーレス化、ガソリン消費量の削減、環境保全に配慮した事業活動
- S:ダイバーシティ推進、ワークスタイル変革、働き甲斐のある職場環境の整備
- G:コーポレートガバナンス強化、コンプライアンス推進、内部統制の適切な運用、透明性の高い情報開示

売上高 480.0億円

前期比

1.1 %増



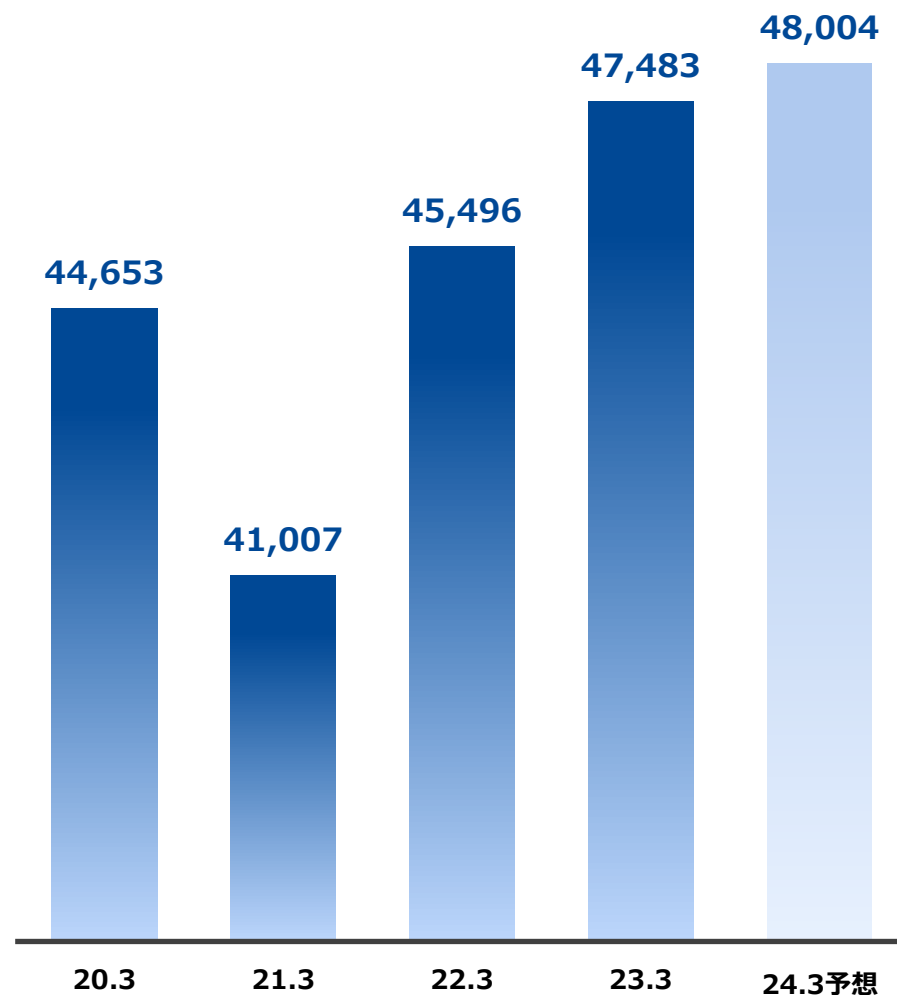
- 新型コロナウイルス感染症による影響の解消を見込む
- 施設拡大、品目拡大による売上増加を見込む
- レーザー事業の減収を見込む
- 一部の主要な取引先施設の減少をおり込む

不整脈事業 41,538百万円 1.7%増

虚血事業 2,698百万円 11.8%減

その他事業 3,766百万円 5.6%増

（単位：百万円）



業績予想（営業利益、当期純利益）

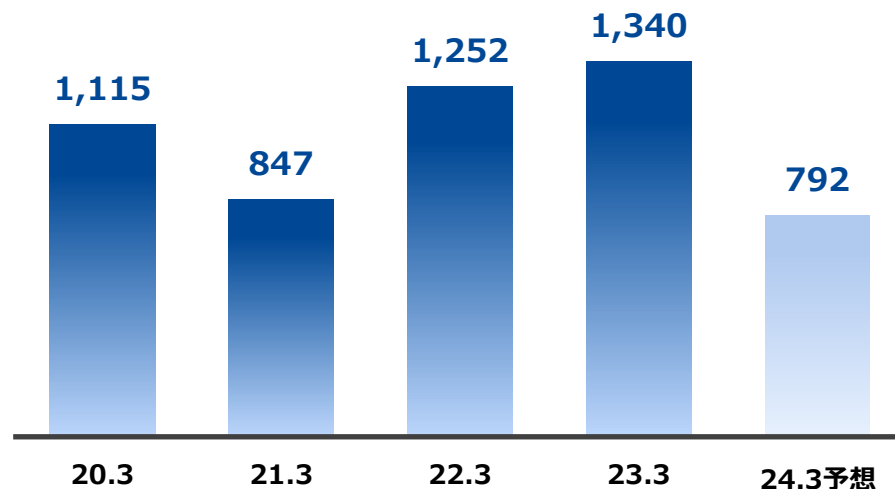


（単位：百万円）

営業利益 7.9億円

前期比 40.9%減

- 売上高の増加（営業利益増加要因）
- 粗利率の低下（営業利益減少要因）
- 運営コストの増加

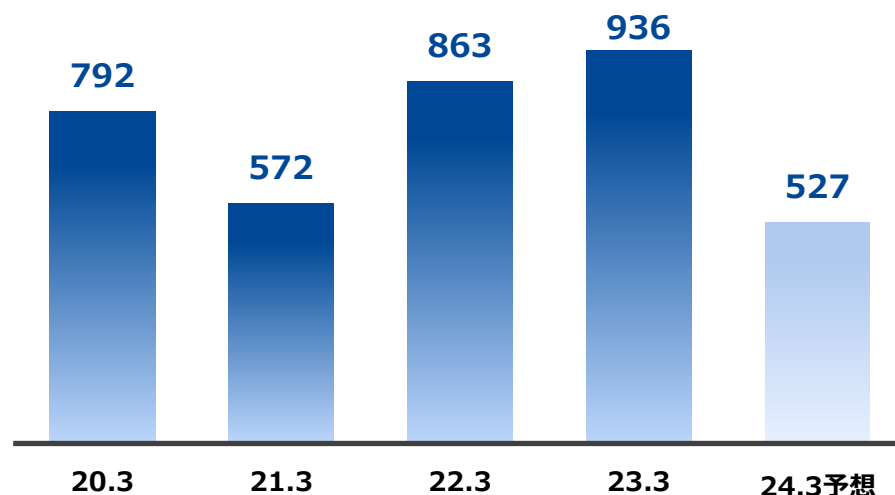


当期純利益 5.2億円

前期比 43.6%減

予想EPS 50円63銭

前期実績 90円21銭



期末配当金 **30.0円**

2023年3月期 **30.0円**

配当性向 **59.3%**

2023年3月期 **33.3%**

配当方針の継続

- 継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを基本として配当を決定する



5 中期展望

パーパス：生命と健康を守る

ミッション：患者・医師・医療関係者にとって有益な製品・サービスを提供し、最適な医療の普及に貢献する。

ビジョン：医療の現場や社会から求められるリーダーを目指す。

人種・性別・世代を問わず、多様な個性で変化を捉え、新たな事業を開拓する。

テーマ
～その目的～

中長期戦略

中期計画

1

利益率、生産性向上

～医療への持続的な貢献～



独自製品拡充
DXによる物流・事務省力化



自社企画品投入
DXと事務フロー変革

2

地域的依存度低減

～コア事業での競争力の保持～



バランス経営のもとでの全国シェア拡大
労働・資本生産性に基づく意思決定



営業利益（配賦後）、労働生産性評価
資本コスト（ROIC）指標

3

強靱な事業ポートフォリオ

～リスクの分散とニーズの追求～



代理店・商社・開発のバランス
ニーズ志向の新商品導入促進



輸入総代理店機能強化
新製品投入の検討ルーティン加速

4

新たな成長基盤の強化（市場）

～世界中の生命と健康を守る～



海外市場開拓
隣接事業開拓



海外仕様開発
RAQUOSアジア向け輸出開始
R-SUD、リサイクル事業

5

成長基盤の強化（組織）

～技術・環境の変化を機会にする～



女性活躍推進
多様な人材育成



女性比率
人材育成予算
M&Aの活用

・数値計画の更新

(単位：百万円)

	第38期 (2024年3月期)	第39期 (2025年3月期)	第40期 (2026年3月期)
売上高	48,004	51,209	55,214
営業利益	792	1,024	1,133
売上高営業利益率	1.7%	2.0%	2.1%

(注)

本中期経営計画は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。



*Development
Venture*

X (無限の可能性)

IRについてのお問い合わせ先 財務経理部

TEL : 03-5985-6832 E-Mail : ir_form@dvx.jp URL : <https://www.dvx.jp/>

本資料はディーバイエックス株式会社の理解を促す参考に資するため、作成したものであり、本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。